



アンディ・ウォーホル《マリリン》1967年 シルクスクリーン、紙 滋賀県立近代美術館蔵 © 2019 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc./Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo C2838

ニューヨーク・アートシーン ロスコ、ウォーホルから草間彌生、バスキアまで—滋賀県立近代美術館コレクションを中心に
2019年6月8日(土)–9月1日(日) 開館時間：9時30分–17時(入場は16時30分まで) 休館日：月曜日(ただし7月15日、8月12日は開館し、7月16日、8月13日に休館)
観覧料：一般800(640)円、大学生500(400)円()内は20名以上の団体料金 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料 毎月第4土曜日(6月22日、7月27日、8月24日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

THE NEW YORK
From Rothko and Warhol to Kusama and Basquiat—From the Collection of The Museum of Modern Art, Shiga and More
ART SCENE

和歌山県立近代美術館

The Museum of Modern Art, Wakayama

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14

(和歌山城の南、県庁前交差点すぐ)

tel.073-436-8690 fax.073-436-1337

<http://www.momaw.jp/>



第二次世界大戦後、ニューヨークは多くの画期的な表現を生み出しました。大戦中、戦火を逃れてヨーロッパから移り住んだ多くの作家たちによって伝えられた近代美術はアメリカの若い作家たちを刺激し、新しい意欲的な表現へと道を開いたのです。

当時最先端の表現であったキュビズムとシュルレアリスムを乗り越えようとする試みはアクションという画家の激しい身振りの結果として、あるいは広漠とした色面の広がりとして、抽象表現主義と呼ばれる絵画を生み出しました。男性用便器を展覧会に出品したマルセル・デュシャンのダダ的な行為は、生活と芸術を等価とみなすネオ・ダダと呼ばれる作家たちに影響を与え、大衆文化への関心は大量消費社会を背景にポップ・アートというアメリカ独自の美術として花開きます。一方で1960年代以降、美術の根源を探るきわめて禁欲的、還元的な美術も同じニューヨークに登場します。そして現代美術の首都とも呼ぶべきニューヨークでは多くの日本人作家たちも活躍し、その中には草間彌生や河原温のように今日世界的な注目を浴びる作家も多く存在しました。

今回の展覧会では現在改修のため休館中の滋賀県立近代美術館が所蔵する日本屈指の戦後アメリカ美術のコレクションを中心に、国内に所蔵される優品を加え、100点余りの作品によって、ニューヨークという都市において展開したアメリカ美術の半世紀の歴史をご紹介します。

主催：和歌山県立近代美術館／特別協力：滋賀県立近代美術館／助成：一般財団法人 地域創造



- ① ジャン＝ミシェル・バスキア《無題》1984年 アクリル・油彩・油性ペイントスティック・シルクスクリーン、カンヴァス 大阪中之島美術館蔵
©The Estate of Jean-Michel Basquiat/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 C2838
- ② ジム・ダイン《自画像》1970-73年 ステンシルの上に手彩色、紙 滋賀県立近代美術館蔵
©2019 Jim Dine/Artists Rights Society (ARS), New York & JASPAR, Tokyo 2019 C2838
- ③ ロイ・リクテンスタイン《夢想》1965年 シルクスクリーン、紙 和歌山県立近代美術館蔵
©Estate of Roy Lichtenstein, New York & JASPAR, Tokyo, 2019 C2838
- ④ ケネス・ノーランド《カドミウム・レイディアンス》1963年 油彩、カンヴァス 滋賀県立近代美術館蔵
©Kenneth Noland/VAGA at ARS, NY/JASPAR, Tokyo 2019 C2838
- ⑤ ジャスパー・ジョーンズ《旗 I》1973年 シルクスクリーン、紙 高松市美術館蔵
©Jasper Johns/VAGA at ARS, NY/JASPAR, Tokyo 2019 C2838

講演会「ニューヨーク美術の半世紀」

講師：尾崎信一郎（鳥取県立博物館副館長兼美術振興課長）
6月8日（土）14時30分から 2階ホールにて（14時開場、先着順120名）
トークイベント「ニューヨーク・アートシーンと音楽」
講師：荏開津広（DJ/ライター/京都精華大学非常勤講師）
8月11日（日・祝）14時から 2階ホールにて（13時30分開場、先着順120名）
フロアレクチャー（学芸員による展示解説）
7月15日（月・祝）、8月24日（土） いずれも14時から／展示室にて（要観覧券）
子ども美術館部「アートのるつぼのるつぼ」（小学生対象の作品鑑賞会）
6月29日（土）11時～12時（小学生は無料、同伴される保護者は要観覧券／2日前までにメールか電話で要申込。
メール：bijutsukanbu@gmail.com／電話 073-436-8690）

だれでも美術館部（みんなでお話をしながら楽しむ作品鑑賞会）
6月29日（土）14時から 展示室にて（要観覧券）

【同時開催の展覧会】
LOVE(your)LIFE! まいにちがアート
4月27日（土）—6月30日（日）
なつやすみの美術館9 水と美術 featuring 坂井淑恵
7月9日（火）—9月8日（日）

【県立博物館の展覧会】
高野山麓の西端で—貴志川流域の文化財—
6月8日（土）—7月7日（日）
南葵音楽文庫の至宝
7月13日（土）—8月25日（日）



◎JR和歌山駅から：バス（2番のりば）で約10分、「県庁前」下車、徒歩2分 ◎南海電鉄和歌山駅から：徒歩15分／バス（9番のりば）で約10分、「県庁前」下車、徒歩2分 ◎南海電鉄なんば駅から和歌山駅まで特急で約1時間 ◎JR新大阪駅からJR和歌山駅まで特急で約1時間 ◎駐車場：2時間まで無料、以後30分ごとに100円